

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成24年8月発行

第120号

発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

木村 佐多子



写真撮影：広報委員

CONTENTS

- 平成24年度 通常総会を終えて 2
- 平成24年度 新理事あいさつ 3
- 和歌山県看護協会会長表彰 3
- 厚生労働大臣表彰受賞者 4
- 日本看護協会会長表彰受賞者 4
- 保健師のコーナー 4
- 助産師のコーナー 4
- 看護師のコーナー 5
- 専門看護師のコーナー(トピックス2012) ... 6
- 地域連携のコーナー 6
- 1日まちの保健室 7
- 「世界禁煙デーフォーラム2012 in 和歌山」
に参加して 7
- フレッシュナース 8
- 私の〇〇 8
- リレーエッセイ 友達の輪 8
- 医療安全数珠つなぎ 9
- My Hospital 9
- 知って得する看護協会だより 10
- プレゼント 10
- 平成24年度役員・各委員
及び地区支部長名簿 11
- 和歌山県看護協会の動き 12
- 「看護の魅力を伝える」 12
- 新入会員オリエンテーション開催 ... 12

和歌山県看護協会 会員数

平成24年8月1日現在

会員総数	5,495名
名誉会員	2名
保健師	125名
助産師	202名
看護師	4,830名
准看護師	336名

公益社団法人和歌山県看護協会 通常総会を終えて

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子



長い梅雨も明け本格的な夏がやって参りました。会員の皆様には、保健・医療・福祉の現場で、日々それぞれご活躍頂いていることに対しまして心より感謝申し上げます。

さて、6月23日、「公益社団法人」移行後初めての通常総会を会員509名（委任状4,073名）の出席を得て開催致しました。移行後は総会での決議事項は、決算、監査報告、定款改正、会費等の額、理事・監事の選出等に絞られ、予算や事業計画等（理事会決議）は報告事項となり、今回はこれに則って開催致しました。議案も全て可決頂き、新役員も投票選挙にて全員が信任され、私も3期目を迎えました。役職員始め会員皆様のご支援、ご協力のもと、重責を果たして参りますので今後とも、何卒宜しくお願い申し上げます。退任役員の皆様には、協会事業発展のためにご尽力頂きましたことに深く感謝申し上げます。

建築推進に関しましては看護職能団体として果たす役割が拡大する中、教育機関として、災害時の拠点として、また、将来を担う看護職のためにも、地域住民に活用頂くためにも引き続きご協力を宜しくお願い致します。

今、少子高齢化が急速に進展する中、医療・保健・福祉の場は多様化し看護職に求められる役割と責任は拡大しています。その一方、看護職の人材不足は深刻です。

24年度重点事業は、使命・理念の基に、看護の質向上、安心して働き続けられる職場作りを推進し、県民の健康な生活の実現を目指して7つの事業を掲げ、一つ一つ着実に進めて参ります。

看護職確保定着推進事業であるWLB推進ワークショップ、潜在看護職復職等支援は今年度もより一層推進致します。「看護師等の雇用の質の向上」に関しては、昨年から労働局主催の「企画委員会」で医師会、病院協会、行政等と共に議論や研修が始まっており、今年度も引き続き積極的に参画して参ります。

教育事業は昨年度事業に加えて、看護教員養成講習会（8ヶ月）、近畿地区看護研究学会（12月7日 於：市民会館）の開催、また新人看護職員支援に関しては「新人高機能シミュレーション研修」「新人他施設合同研修」「教育担当者研修」「実地指導者研修」等を開催し、看護の質向上、医療安全の確保、早期離職防止に繋げて参ります。

加えて、今年度より、介護・福祉・在宅部門で働く看護職の育成・教育を強化すべく、看護師職能委員会を病院領域Ⅰと介護・福祉・在宅等領域Ⅱに分けて各々に委員長を配して重点課題としてそれぞれ活動して参ります。

組織強化に関しましては、23年度末の会員数は5,359人で昨年同月比121人の増、更に24年度も順調に増加しており、各地区支部や各職能委員会の活発な活動によるものと心から感謝しております。今後も県内就業者の50%を目標に頑張って参りますので、引き続きのご協力を宜しくお願い致します。

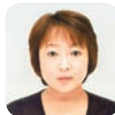
以上、重点事業を推し進め、協会の使命である「人々の健康な生活の実現」に向かって、看護職の資質向上、働き続けられる職場環境づくりへの支援等、日本看護協会はじめ行政、関係団体と連携強化を図り、県民や看護職に信頼して頂ける職能団体を目指して積極的に取り組んで参りますので、今後共会員の皆様のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成24年度 新理事あいさつ



微力ながら看護協会の役割と責務を遂行していきたい。

副会長 **弓庭喜美子**



会長を補佐し、県看護協会の発展に尽力します。

副会長 **塩路 有理**



2期日専務理事として、また公益社団法人としての役割を果たしてゆきたいと思ひます。ご支援・ご協力をお願い致します。

専務理事 **黒田美也子**



会員増を図り、魅力ある保健師職能活動を目指します。

保健師職能理事 **高垣 通代**



介護施設・在宅での看護の機能強化を目指します。

看護師職能Ⅱ理事 **澤越 純子**



こういつた役割の経験はありませんので我ながら心細い限りです。理事の方々や地区会員の皆さまのご指導をいただきながら、地区理事に期待されている役割を誠実に努めて、責務を全うしたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

和歌山地区理事 **木村美登利**



施設間の連携を深め、活気ある組織を目指します。

伊都地区理事 **小松 仁美**



県協会の協力を得ながら、理事として地域住民の健康推進に尽力させていただきます。

那賀地区理事 **曾和とも子**



微力ですが看護協会活動に尽力致します。

有田地区理事 **小原喜代子**



住民の暮らしと医療をつなぐ看護を考えたい。

日高地区理事 **西岡 倫代**



全員の顔と手がつながっていく活動をします。

田辺地区理事 **林 弘子**



不安いっぱいですが、協会活動に尽力します。

准看護理事 **山本美佐子**



公益法人として新たな年、協会運営の適切性に尽くします。

監事 **井藤 濱代**



会計と税務のプロフェッショナルです。よろしくお願いします。

監事 **羽原伊久雄**

和歌山県看護協会会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました！

① 抱負・モットー ② 後輩に伝えたい一言



- ① 信頼と和、感謝の気持ち
- ② 多職種との連携とコミュニケーションを大切に

橋本保健所 **後藤 智子**

- ① 日々勉強
- ② 住民の声に耳を傾け、心に寄り添う活動を

海南保健所 **小川 政予**

- ① 何事も前向きに取り組むこと。プラス思考で！！
- ② 失敗を恐れず目標に向かって挑戦して欲しいです。

有田市立病院 **中島 和美**

- ① 心をこめて。真摯さ。
- ② 1人ひとり大切な存在です。

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 **谷川 聖子**



- ① 職種間の良好な連携とコミュニケーション
- ② リスク感性を高め、安全な看護に努めましょう。

和歌山県立医科大学附属病院 **谷口 明美**



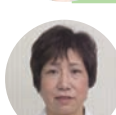
- ① これからも相手に寄り添う看護を目指します。
- ② 頑張っている自分にプラスのストロークを！

日本赤十字社和歌山医療センター **田村 睦子**



- ① 優しさと謙虚さとリーダーシップの調和。
- ② 感性を豊かにし、人に関心を寄せて下さい。

海南市民病院 **中野 美枝**



- ① 相互理解
- ② 看護の喜びを伝えていきましょう。

国保日高総合病院 **谷 真理子**



- ① 感謝・人の生き方から学ぶ・プラス思考
- ② 自分と・自分の仕事と・自分の職場を好きになろう

社会保険紀南病院 **林 弘子**



- ① 感謝の気持ちを忘れず、いつも笑顔で前向きに
- ② コミュニケーションを大切にする

夢の浦リハビリテーションセンター付属病院 **道端 由美**

厚生労働大臣表彰受賞者

坂口 スマ子



この度厚生労働大臣表彰を看護師として平成 24 年 6 月 5 日に頂きました。これも一重に皆様のご指導ご鞭撻のお蔭と存知、感謝いたしております。

私と看護協会の繋がりは深く、20 代の頃から看護協会の皆様方には格別のご支援をいただいてまいりまし

た。そして、現在は看護教育の場で若い人達に看護の魅力を語っています。今後も表彰に恥じないような生き方をしてゆきたいと思っています。有難うございました。

日本看護協会会長表彰受賞者

トータルケアセンター 灘井 京子



千葉県幕張メッセで開催された通常総会初日に、坂本スガ会長より表彰を受けました。

この栄えある賞が重く困惑し、どう受け止めて良いのか考え付くのに少し時間がかかりました。

看護界では今、少子高齢化の対策のひとつとして、「生

涯現役」という言葉が生まれています。私にそれを実行するように言われているのだと受け止め、このことを忘れない様に、今後も地域で頑張って行きたいと考えています。

保健師のコーナー

保健師職能委員長 高 垣 通 代



今年も、再度保健師職能委員長をさせていただきます高垣通代です。

3 年目にして、やっと日本看護協会や和歌山県看護協会の流れが理解できるようになってきました。2 年間の実績を基に、会員皆様のご協力を頂きながら精一杯頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、24 年度日本看護協会の保健師に関する重点政策、重点事業は【効

果的な保健師活動推進のための活動基盤強化】を掲げています。

事業内容の主なものは、

1. 市町村保健事業の最適化を図る活動方法の開発に向けた試行事業
2. 統括保健師の計画的な育成を含む現任教育体制の検討
3. 行政で働く保健師の能力開発事業（中堅期保健師コンサルテ

ション事業・保健指導ミーティング事業）等であります。

23 年度、職能委員会活動の主なものは、会員増に向けて、22 年度に実施しました「保健師に関するアンケート調査結果」報告や、協会活動について、7 保健所、140 名の方々に致しました。

また、初めての企画でしたが、日本看護協会の助成を頂き、保健指導ミーティング事業を、大勢の参加者のもと開催致しました。

24 年度も、本協会と連携を図りながら事業を推進します。職能委員会は産業分野から 1 名委員を選出いただき、9 名でスタート致します。職能集会は、中堅期の役割等について、既に中堅期保健師コンサルテーション事業終了者である、鹿児島県の能勢保健師を講師とし開催します。

また、昨年に引き続き、保健指導ミーティング事業の開催や、職能便りの発行も予定としています。

会員皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

助産師のコーナー

助産師職能委員長 杭ノ瀬 結 子



平成 24 年度、助産師職能委員長を務めさせていただきます杭ノ瀬です。

今年は職能委員長 2 年目となり、日本看護協会助産師職能の意向を反映しつつ、昨年度からの積み残しや課題に取り組んで行きたいと考えています。

平成 24 年度の重点事業は「助産師の積極的な活用による安全で安心な妊娠・出産・育児環境の整備」とし、

活動目標は

1. 助産実践能力向上の為にキャリアアップ研修を開催する。
 2. 助産師の専門性を発揮するために助産外来の推進を図る。
 3. 助産師職能として思春期教育出前事業、地域に根ざした活動を展開する。
- としました。

活動内容は

・助産師職能集会 9 月 8 日（土）講師に日本看護協会助産師職能理事 福井トシ子先生をお迎えし、「助産師を取り巻く現状と課題」の講演を予定しています。是非ともご参加下さい。

・助産師研修会の開催 ① 7 月 14 日（土）「胎児心拍モニタリングの判読について」② 1 月 19 日（土）「フリースタイル分娩介助」

・近畿ブロック助産師研修会 10 月 27 日（土）大阪府看護協会「近畿ブロック助産師職能主催 周産期災害対策シンポジウム」

・三職能合同研修会 9 月 8 日（土）

・小委員会活動として

①産科領域における災害マニュアルの検討

②助産師キャリアパスの作成

・思春期教育の出前教室

・まちの保健室への協力を計画しました。

職能委員と共に研修会や小委員会を通して、助産師のキャリアアップやキャリアパス、災害マニュアルについて検討していきたいと思います。ご支援、ご協力をお願い致します。

看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅰ 委員長 東 直子



東日本の震災、台風12号の災害に被災された皆様には、あらためてお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興することをお祈り申し上げます。

看護師職能委員長の大役を受けて一年がたちました。皆様には、職能委員会活動にご協力いただき有り難うございます。

昨年度の活動を通じて感じたことは、近年めまぐるしい社会の変化のなかで、これから向かえる超高齢化社会をしっかりと見定め、私たち看護職は対応していかなければならないということです。

平成23年度より看護師職能委員会活動は、病院領域Ⅰと介護・福祉関係施設・在宅領域Ⅱと2つの役割や機能を果たすことになりました。平成23年度看護師職能委員会は、領域Ⅰ・領域Ⅱと

一緒に活動してきましたが、平成24年度から領域Ⅰ・Ⅱと分かれての委員会活動することになりました。

新しいメンバーを迎え、病院と施設・在宅の連携にむけて共に頑張りたいと思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。今年度の目標を

1. 看護の質の向上を目指して、看護専門職としての能力開発を促進する
2. 「働き続けられる職場作り」ワークライフの実現
3. 看護協会の活動PRを行い看護職能の組織強化を図る
4. 三職能の連携を強化するとして活動します。

9月8日(土)には、看護師職能集会、テーマ「つなぐ看護を考える」・三職能合同研修会テーマ「災害への対応～災害発生時における看護職の連携について～」を開催いたします。皆さんの参加をお待ちしています。

看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅱ 委員長 澤 越 純子



今年度より看護師職能委員会は、ⅠとⅡの領域に分け活動することとなりました。看護師職能委員会Ⅱは、『介護・福祉関係施設・在宅領域』を担うこととなります。この創設の背景は、看護師職能委員会の機能を考えたときに、今までのように看護師職能委員会が看護師のあらゆる問題について議論し、整理できるかと問われれば、できないと答えざるを得

なくなってきました。

看護師の働く場は、病院ばかりでなく多様になってきているからです。特に介護保険制度ができてからは、訪問看護や高齢者ケア施設、介護サービス事業所等、需要が広がってきています。

一方、病院においてはさらなる在院日数の短縮化が図られ、結果、地域や在宅など暮らしの場で長期的に医療依存度の高い高齢者を支える仕組みが必要となります。そう考えたときに介護の領域で、在宅の場でどんな問題があるのかを議論する機能が必要と

なり、看護師職能委員会Ⅱの創設となったのです。

この委員会のスタートメンバーは6人です。病院、介護老人保健施設、大学の保健看護学部、訪問看護ステーションに勤務している者で構成されており幅広く意見を出し合い議論をしていきたいと思っています。

平成24年度活動目標は、『介護・福祉関係施設に働く看護職の資質の向上』

活動内容は、

1. 23年度の介護保険施設におけるアンケート調査の結果を分析・活用
2. 研修会の実施及びネットワークづくり
3. 介護施設における看護職員のための系統的な研修プログラムの冊子の活用促進

研修会としては、9月8日(土)テーマ：つなぐ看護を考えるで、Ⅰ・Ⅱ合同で看護師職能集会を開催します。また、介護・福祉施設に出向いての出張研修も企画しています。

会員の皆様の身近な委員会としてご意見をたくさんいただき意義ある活動をめざし一年間励んで行きたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

専門看護師のコーナー

トピックス 2012

和歌山県立医科大学附属病院
がん看護専門看護師

温 井 由 美



私は、2003年にがん看護専門看護師の認定を受けました。認定を受けた後の2年は育児に専念していましたが、がん看護をしたいとの思いが強くなり復職しました。現在は、主に緩和ケアチームの活動を行っています。

WHOは、2002年に「緩和ケアとは生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題に関して的確な評価を行い、それが障害とならないように予防したり、対処することで、クオリティ・オブ・ライフを改善するアプローチができる」と定義を変更し、緩和ケアは、がんと診断された時点から治療と並行して行われるものであると公表しました。

当院では、2007年に緩和ケアチームが設立されました。設立当初は、患者さんに「緩和」と伝えると、「緩和っていいイメージがない」「緩和のお世話になる時期ではない」と言われることが度々ありました。私たちは、その言葉を聞き緩和ケアチームという名前を変えようかと真剣に考えました。

しかし、WHOが定義している緩和ケアの概念を広げるために、あえて緩和ケアチームという名称で活動しようと誓い5年が過ぎました。活動を開始した2年目頃から、上記のような言葉を聞くことは少なくなり「他の人にも緩和と治療と一緒に受けるといいよ」と言っているのよ」と言ってくださる方も増えてきました。今になって、緩和ケアチームと名乗って活動してきてよかったと思っています。

私は緩和ケアチームの看護師として、病気という苦難の中で患者さんやご家族の方々がその人らしい時間を有意義に過ごし、人と人の絆を深めながら病気の中に意味を見いだすことができるようにサポートできればと考えて活動しています。入院という人生の中のほんの少しの期間しか関わることはできないかもしれませんが、がんと診断された時から大切な時間を共有できる看護師であり続けたいと思います。

地域連携のコーナー

橋本市民病院における「地域医療連携室」の活動概要

橋本市民病院 地域医療連携室 室長(医療ソーシャルワーカー) 松本 忠幸

当院の地域医療連携室は医療相談室と一体化しており、病院の顔として常に意識し、幅広い活動を行っています。地域連携業務としては、初診紹介予約の取得(開業医など地域の医療機関より紹介された初診の患者さんに対し当室にて事前予約を取得するシステムです。)に関し、事務員だけでなく、社会福祉士(MSW)や退院調整看護師も電話対応を行い、積極的に予約取得を行っています。

また「受診報告書」は漏れが無いよう即日100%送付を目指し、当室で一括管理を行いFAX送付しています。地域の医療機関よりご紹介を受け、経過が長くなっている患者さんに対しては、主治医より「経過報告書」の記載を依頼し、FAX送付を行っています。報告書の記載がされているか、否かについては、当室にて管理し、主治医に記載の促しも行っています。

患者さんがお亡くなりになった際には、電子カルテを確認の上「ご紹介患者様死亡報告書」を当室より紹介元医療機関へFAX送付しています。

ご紹介頂いた患者さんの紹介状については、必ず当室を経由する形とし、患者さん情報を入力していくことで、紹介統計や経過報告書、逆紹介管理を行っています。当院より他医療機関への外来紹介予約取得やPET検査予約に対しても当室にて対応しています。

またセカンドオピニオンに対しての窓口にもなっており、地域医療機関よりご紹介がある際には、担当医師、日時の調整を行い、当院よりセカンドオピニオンを他医療機関に紹介していく際には、紹介先医療機関への連絡、必要な調整等を行っています。地域連携サポートとして開業医と当院勤務医との橋渡しを行い、事務的な連絡や、情報交換の際には医師間のパイプ役となり対応しています。そして定期的に地域の医療機関や介護施設、福祉事業所等に積極的に向き、顔と顔の見える関係を構築することで、地域医療のニーズを拾い、当院にて反映させるべき活動も行っています。

広報活動としては、年3回程度「連携室だより」を発行し地域の医療機関に送付しています。今までは各医療機関に差し替え式の病院ファイルを配布し、医師の移動等がある都度、差し替え用の医師プロフィールを送付していたのですが、ファイル自体の老朽化もあるため、現在は製本化した「診療のご案内」を当室主導で企画し、発行に向け動いているところです。

院内においては、院内ホームページにて地域医療機関、

介護施設等の検索ファイルを立ち上げ、主に開業医の詳細な情報を院内スタッフが誰でも閲覧・検索できるようにしており、随時情報の更新も行っています。

もうひとつの大きな柱である医療福祉相談に関しては、退院調整(後方支援)メインに、地域の医療機関からの転院依頼に対する調整(前方連携)も同時に行っています。

医療福祉相談については、核家族化現象、高齢者の独居率上昇、経済的な不況もあり、年々件数は増加し、その内容は複雑化する一方です。そのため当院では4名の社会福祉士(MSW)と1名の退院調整看護師を配置し、対応にあたっています。

またがん診療連携拠点病院として当室内にがん相談支援室を設け、電話、面談等によるがん相談や乳がん患者会、患者サロンの運営・企画を行っています。5大がん地域連携パスの稼働におきましても、数はやや少ないですが、当室が中心となり、診療所の医師・当院の医師・看護師と連携し、患者さんが在宅生活に戻っても、より良い診療が受けられる様に対応しています。クリティカルパスの利用促進としては、当地域の脳卒中地域連携パス(和歌山県統一)において、和歌山県下唯一、地域の医師会と連携を図り、第3医療機関(診療所・クリニック)を含めたネットワーク形成を行っています。そしてこの度、平成24年診療報酬改定や介護保険改定を受け、現在介護老人保健施設等を含めた新たな脳卒中地域連携パスネットワークの構築を行っている最中です。

その他、医療と福祉の連携強化が必須である昨今、退院時カンファレンスの開催を積極的に行い、特に末期がんの患者さんの在宅支援サポートを行っています。患者さんやご家族が不安の無い様自宅に戻り、生活できる形を構築するため、必要に応じて主治医やかかりつけ医も一同に会したカンファレンスを実施しています。開催における多職種調整、情報提供等に関しては、当室にて一括して行っています。

今後の課題としては、患者サポート体制充実加算の導入、退院調整加算の早期算定、紹介率・逆紹介率の向上等々、まだまだ行わなければならない事項が沢山あります。

但し、このような様々なシステム以上に地域の皆さん、地域の医療機関より愛される病院となっていくよう、まずは当室より院内・外にアクションを起こしていかなければならないと日々考えています。

「世界禁煙デーフォーラム2012 in 和歌山」に参加して

社会経済福祉委員会 稲田 ゆり

5月27日、県立和歌山工業高校で開催されました。和歌山県の喫煙率は全国の中でも非常に高い水準にあり、肺癌による死亡率は全国ワースト1であるといわれています。日本禁煙推進医師歯科医師連盟会長の大島明氏は基調講演で「喫煙による健康影響」「受動喫煙の害」「禁煙は何歳から始めても効果がある。保健医療職者が周囲に働きかけて欲しい」と述べていました。和歌山県下においても、敷地内禁煙の病院は増加傾向です。

しかし、県民の喫煙率は男性で44.7%(全国平均32.2%)と日本の中でも第2位という現状です。私達保健医療従事者は「喫煙による健康被害」「禁煙による健康改善」について、正しい知識を伝える役割を担っています。社会全体が「禁煙」に向かっている中で、「命を大切に、健康を大切に」というメッセージを県民に伝え、早急に禁煙教育を広めていかなければならないと感じました。

「まちの保健室」開催



1日まちの 保健室



平成 24 年 5 月 12 日に県内 8 地区で「1日まちの保健室」を開催しました。
今年も骨密度やAED・ちびっこナース体験が人気。1000 人を超える参加者に
「看護の心」を発信しました。

メッサ オークワ ガーデンパークで定例の「まちの保健室」開催しました



この事業は、県民の皆様健康への関心を持っていただくと共に、生活習慣改善のきっかけづくりということではじまってから今年で 8 年目を迎えています。メッサ オークワ ガーデンパーク和歌山で奇数月の第三土曜日に今年度はセカンドキャリアの人達の協力も得て開催しています。

当日は、身体計測、骨密度、体脂肪、血圧測定等の他、保健師、助産師、栄養士による保健指導や栄養指導等を実施しています。

第一回は 7 月 21 日（土）88 名の方が参加して下さいました。

骨密度測定は大変好評で「初めて測定した」「食事に気をつけているので前回より数値がよくなりうれしい」との声がありました。今後も「まちの保健室」活動を通して、県民の健康づくりを推進すると共に和歌山県看護協会のアピールを兼ねて、継続して参ります。



★★★フレッシュナース★★★

「これからの自分」

公立那賀病院 看護師

矢尾 拓 真

看護師として働きだし、新しいことばかりで覚えるのが大変です。しかし、わからないことがあれば、そのたび手を止めて優しく教えてくださる先輩看護師に日々感謝して、毎日乗り越えられています。私が看護師を行っていく上での理想像は、必要とされることです。それは患者様、医療者からです。そのためには、日々知識と技術を身に付け一歩ずつ確実に前に進んでいきたいです。また、先輩看護師が患者様の今後の生活のことを全力で考えている姿に感動し、私もこれからは患者様の退院後の生活についても考えていけるように、頑張りたいと思いました。これから、先輩看護師の背中を追いかけてながら、自分の看護を身につけていきたいと思っています。



和歌山県立こころの医療センター

看護師 辻 本 未 知

昨年7月から、県立こころの医療センターに勤務しています。少しずつ雰囲気や業務に慣れてきたと思います。病棟の雰囲気は明るく、不安でいっぱいの方に先輩の方がいつも優しく声をかけてくださり、とても心強いです。

患者さんとの関わりの中で、精神を患っている方は多くの不安や恐怖を抱えていても、それらの精神症状は他者に理解してもらいにくいことがあり、患者さんは孤独感を感じているのではないかと感じました。

入院時はその症状が著明であっても、時間とともに回復して笑顔で地域に戻られる患者さんをみて、今後も精神疾患に苦しむ患者さんに関わり、患者さんの苦しみを理解し、患者さんに寄り添った癒しの看護がしたいと思っています。

これからも不安になったり悩んだりすることがあると思いますが、日々学習や経験を重ね、成長していけるように一生懸命頑張りたいです。

私の



《大切な思い出》

那智勝浦町立温泉病院

坂 井 多恵子



兵庫県内の看護学校に入学するため、母に見送られ勝浦駅を立ったのは、今から24年前。期待よりも両親の元を離れる不安の方が大きく、白浜辺りまで泣いていたのを覚えています。学校生活が始まると、泣いている暇などなくなりました。実習場所の県立病院までは距離があり、移動は「那智勝浦町」ナンバーのバイクです。

給油に行くスタンドのおじさんが「遠いところから来たな。頑張れよ」と、励ましてくれました。そして、バイクのカゴに採れたての野菜を入れてくれました。野菜の贈り物は、私が卒業するまで続きました。あの時に、看護の核となる、人に対する思いやりや優しさを教わったように思います。おじさん!あの時は本当にありがとう。

リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.41

訪問看護ステーション ハッピーライフ

南 たえこ

訪問看護を始めて18年、自分で会社を立ち上げてから12年目になります。今年は、ホームページを作成するなど外へのアピールに力を入れています。

病院も在宅もそれぞれ看護は奥が深く、まだまだだな~と思うことが度々ありますが、自分にできることを精一杯頑張る毎日です。

昨年から取り組んでいる支援事業をはじめ、地域連携・看看連携がスムーズになって看護職主体でもっといろんなことに取り組んでいけたらいいな~と考えてます。お互いに頑張りましょう!



今回は、訪問看護ステーション桔梗 池永 伸子 さんをご紹介します。

医療安全

数珠つなぎ

独立行政法人労働者健康福祉機構 和歌山ろうさい病院

医療安全管理室 遠藤 栄理



医療安全『KKD』

「医療安全は看護師さんがよく言う『KKD（勘・経験・度胸）』では実践できません」これは、ある医療安全管理の講師の言葉です。ならば、『KKD（気合・根性・どうにかなる）』で行こうと医療安全管理者として2年間走ってきました。今、実感していることは、医療安全においてコミュニケーションがとても重要だということ

す。患者安全のためのよいコミュニケーションがはかれるように、現在は医療安全『KKD（危険予知・共有・つかいチームワーク）』でがんばっています。

次回号に紹介させていただく方は
済生会和歌山病院 医療安全管理室 澤田 康幸 様です

My Hospital

琴の浦 リハビリテーションセンター

リハビリテーション イコール 看護

看護部長 大久保 まさ子

琴の浦リハビリテーションセンターは、マリーナシティの対岸にあり、小児から高齢者のトータル的なリハビリテーションを実践しています。センターの中の付属病院には、回復期リハビリテーション病棟 87 床があり、多くのセラピストと共に、ADLの改善、早期回復、早期在宅復帰を目標に365日切れ目のないリハビリテーションを提供しています。

私たち看護師は、「援助は出会ったときから始まる、当たり前前の生活に近づける」を合言葉に、看護方針を10項目 ①声かけ挨拶を積極的に ②食事は食堂でできるだけ口腔より ③トイレはトイレで ④口腔ケアと鏡を毎日見る ⑤入浴は夜間に ⑥昼間は普段着で ⑦再発予防に努める ⑧安全安楽な環境作り、根拠のない抑制はしない ⑨チームアプローチの充実、情報の共有 ⑩外出外泊を推進 を掲げて日々前向きに

実践しています。

最近、私たちの看護の関わりで大変うれしく感じたことがありました。それはC5-6頸損患者さんで気切、Mチューブ、バルーン留置と全介助だった彼が、三ヶ月ほどの入院で自力で車いす移動ができるようになりました。彼は看護学生だったので再度看護師になる道に向けてがんばる意欲を見せてくれました。「車いすの看護師っていいじゃない!!」

私たち看護師の役割は生活の再構築と自立支援です。リハビリテーション看護から看護師の仲間が増える喜びを感じました。

琴の浦リハビリテーションセンターでは地域連携室を中心に入院から退院支援まで、切れ目のない医療機能の連携体制をつくっています。

ぜひ出会いをお待ちしています。



知って得する看護協会だより

第3号



●発行責任者／看護師職能委員長 東 直子 ●編集／看護師職能委員会

あなたのために、できること あなたに、できること

医療や看護にかかわる情報を、いち早く知るにはどんな方法があるの？

①日本看護協会機関紙「協会ニュース」

日本看護協会の活動や取り組み、看護界と保健医療福祉を取り巻く動向などをタイムリーに掲載しています
和歌山県看護協会会報「黒潮」
和歌山県看護協会の活動や取り組み、県内の病院や職場での活動や取り組みを紹介しています

②Web サイト

日本看護協会公式ホームページ <http://www.nurse.or.jp/>
市民への情報提供から、看護職に欠かせない専門情報までを国内外に発信しています
JNA ー会員ダイレクト
インターネット上の会員専用窓口
「最新看護検索 Web」などの文献サービスが利用できます
和歌山県看護協会ホームページ <http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>
各委員会の活動や、研修のお知らせなどの情報を発信しています

参加したい研修がみつかったり、看護研究の文献検索に役立ちますヨ！

協子の
つぶやき

ホームページを見てみようかな？

この意味 知ってる？
「いっちはんかい
一知半解」

フツイから既スミヤウイニクニ既：ミ景

第11回

プレゼント！

みなさま、どしどし応募してください。

「羽毛まくら」

を

2名様に！

どちらか1つ
当たります！

「図書券」

1,000円分を

5名様に！

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、9月25日(火)までにお送り下さい。(消印有効・1人1通のみ)
抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛 先 〒641-0036 和歌山市西浜 1014-27 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係

プレゼント
応募者の
声

- いつも皆様の活躍ぶりを読ませて頂いています。
新しい取り組みや、ケア、いろいろ教えて頂くことが多くあります。
- 表紙の写真とってもいい写真ですね。春は皆さんにとって新たな春です。
看護が、春が来るたびみんなに知ってもらえることができたら、どんなにうれしいことでしょう。
私もこれから「活潑地」でいたいです。ありがとうございます。

★印は委員長

11

和歌山県看護協会の動き

平成24年度第3回理事会

開催日時：平成24年7月2日（水）13:00～15:00

I 審議事項

1. 平成24年度総会議案の決議事項確認及び事業推進について
2. 平成24年度重点事業及び事業計画について
3. 円滑な事業運営（常務理事会・理事会等の年間計画）について
4. 新看護研修センター建設に関する今後の取り組み
5. 各表彰候補者推薦について
 - 1) 平成25年度春の叙勲及び褒章候補者推薦
 - 2) 第41回（平成24年度）読売医療功労賞候補者推薦
 - 3) 平成24年度和歌山県ナース章候補者の推薦
6. 平成24年度各地区支部活動について
7. 常任・特別委員会への諮問事項について
8. 組織強化について

9. 細則変更について

10. その他

- 1) 平成23年度理事の委員会等の担当について
以上すべて承認される

II 報告事項

1. 平成25年度事業運営に関する提案要望について
2. 平成25年度通常総会開催日程と開催場所について
3. 理事会役員のメールアドレス等について
4. 平成24年度和歌山県病院協会学術大会につ
5. その他
 - 1) 看護師特定能力認証制度について

「看護の魅力を伝える」



常任理事 古川 紀子

1人でも多くの人に看護の道を選択していただきたいと、木村会長は、6月23日（日）にヒューマン・アカデミー和歌山校にて高校生や保護者を対象に「看護職になるには」「看護の素晴らしさ」等についてのお話を致しました。参加者は19名で皆熱心に耳を傾けていました。1人でも多くの方が「看護の道」に進んでくれることを願っています。

新入会員オリエンテーション開催

受講生101名を迎え、7月11日（水）看護研修センターで新入会員オリエンテーションが開催されました。

午前中は、「日本看護協会創立60周年のあゆみ」のDVD鑑賞の後、木村会長から日本看護協会、和歌山県看護協会の役割についての講義がありました。

午後からは、「新卒看護職員のためのストレスマネジメント」と題して、和歌山県立医科大学保健看護学部水田准教授のご講演の後、2名の先輩看護師から「仕事のストレスとどう付き合うか」について体験談を報告していただきました。グループワークでは、「他施設の人と交流を持つことができた」「お互いに悩みを話し合えたことで、自分だけではないこれからも頑張ろうという気持ちになった」等の意見がありました。

本物の豊かさ
やさしく包み込まれる
楽園の寝心地

天然羊毛の中から厳選した原料を使ったムートンアリエス40。1cmに5000本以上の毛が密生しているので、その1本1本がスプリングのように無数の点で身体を支えて、包み込むようなやさしい寝心地です。品質にこだわる東洋羽毛が自信を持ってお奨めする一品です。



東洋羽毛関西販売株式会社

大阪営業所
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-8-12
TEL 0120-88-2104

和歌山営業所
〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
TEL 0120-32-7766

ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>



平成24年5月、
東洋羽毛（株）から
黒潮プレゼント用に
「足まくら」20個
和歌山県看護協会に
寄贈されました。